

O T O N O S A M A

第49回特別展

井原地方の

”お殿様“



②

平成30年

10月13日<sup>土</sup>

～12月2日<sup>日</sup>

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月・木曜日

入館料 無料

井原市芳井歴史民俗資料館

〒714-2111 岡山県井原市芳井町吉井4110-1 TEL 0866-72-1324



井原市ホームページ

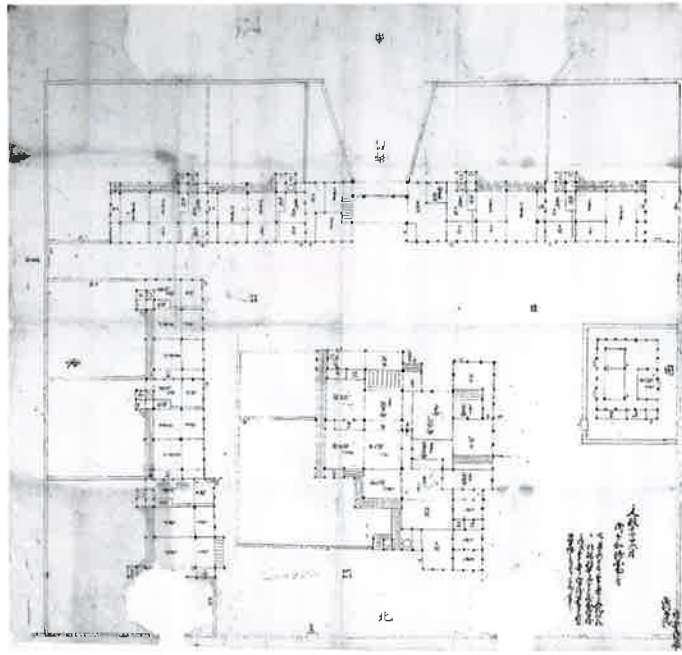
<http://www.city.ibara.okayama.jp/>



①

第49回特別展

# 井原地方の “お殿様”



- ①元治元年(1864) 旗本池田家第10代当主 池田長発肖像写真
- ②年月日未詳 池田長発筆「仙霊館」
- ③年月日未詳 旗本水谷家第4代当主 水谷勝政筆「松鶴図」(部分)
- ④慶長7年(1602) 小堀検地帳
- ⑤文政11年(1828) 江原陣屋普請入札絵図
- ⑥明治4年(1871) 麻田藩第14代藩主 青木重義筆掛軸

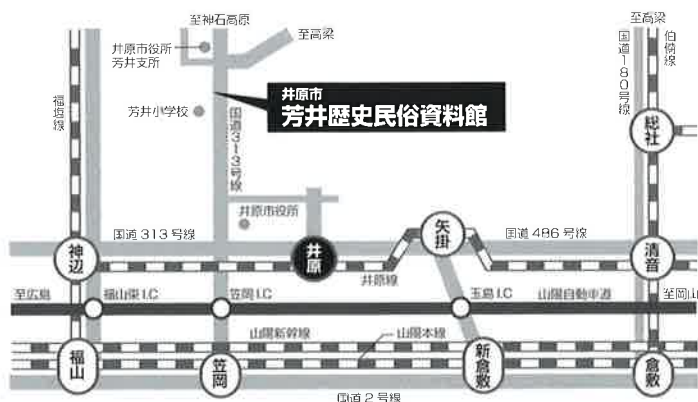
①～③は個人蔵、④～⑥は井原市教育委員会所蔵

このたび、井原市芳井歴史民俗資料館では、第49回特別展『井原地方の“お殿様”』を開催いたします。

江戸時代、井原地方が含まれる備中国では、小さな藩領や旗本領と、幕府領が入り混じっていました。時代による領主の交替も多くみられました。これらの支配の特徴は備中国が国割りの際、石高の調整地域にあてられたことに由来します。

江戸に居住する旗本や藩主と領民はどのような接点があったのでしょうか。また領民は領主や江戸藩邸をどのように思っていたのでしょうか。

この度の展示では、江戸時代初期の備中国奉行小堀正次が手掛けた「小堀検地帳」や旗本小堀正十の書状、幕末に遣欧使節正使を務めた池田長発の直書など、井原地方に領地を有した“お殿様”の姿がうかがえる資料を展示いたします。



### ■交通案内 (井原線/井原駅から)

車・タクシー：10分

バス：井原バスセンターより北振バス芳井方面  
15分、芳井支所前下車 徒歩10分

自動車：山陽自動車道笠岡ICより県道34号線を  
35分



井原市ホームページ <http://www.city.ibara.okayama.jp/>

## 井原市芳井歴史民俗資料館

〒714-2111 岡山県井原市芳井町吉井4110-1 TEL 0866-72-1324